

2026年確定申告相談会の日程

昼間 10時～15時
2/18水・2/19木・2/20金 予約不要
2/26木 要予約 ※税理士への相談を希望する方

夜間 2/27金・3/4水・3/11水 完全予約制
①17:00～ ②17:45～ ③18:30～

所定の用紙にて予約して下さい。用紙は支部にあります。



(購読料は組合費の中に含まれています。)
定価三十円

発行所
東京土建一般労働組合
城北ブロック会議
東京都豊島区西池袋 5-22-15
電話 豊島 (3986) 2471
北 (5390) 6021
板橋 (3963) 5325
練馬 (3825) 5522
発行人 寺島 耕平
発行予定日 毎月4回
1日、9日、17日、25日

新春
企画私のお正月 年末年始のようすを
仲間に聞きました

消防団に加入しませんか

原田陽弘 支部教宣部長 かなめ



分団倉庫でポンプの点検中にパシャリ

年末は、大晦日までお仕事をしていますが、消防団の活動もしています。私は、池袋消防団・第5分団に所属しており、階級は班長です。

12月21日(日)は千早格納庫にある可搬ポンプの点検と要小学校で防災訓練の指導を行います。防災訓練は約500名の小学生に、水消火器を活用した初期消火訓練、煙体験ハウスを使用した避難訓練を行います。中学生や高校生相手に指導することもあります。31日から1月1日にかけて椎名町駅前にある長崎神社に警備に行く予定です。今回は寒い中、ロープを使って入場整理をしました。1月18日(日)は、池袋消防団初め式があり、池袋消防署長賞・救命講習指導功労(7名)として表彰される予定です。これは、救急救命講習の補助を毎月やっておりその成果です。

お仕事も忙しいですが、消防団の活動もやっており、充実した年末年始を送っています。貴方も消防団に入って一緒に活動しませんか？

家族で囲む食卓

野本陽子 さくら分会教宣部員



お正月に全員集合のところをパシャリ

我が家では、毎年一月二日に全員集合することがお正月の恒例行事です。

息子たちが小さいころは、主人の姉2人の家族7人と、我が家は主人の両親を含め6人、計13人で食卓を囲むことで一年が始まりました。それは、両親が亡くなるまで続きました。

その息子2人が結婚し、孫が5人になり、現在は11人になりました。姑が健在の時は、かまぼことだて巻以外は、昆布巻、田作り、なます、栗きんとん、煮メ、黒豆、きんぴら等、手作りのものでした。

今やいわゆる「おせち」は姿を消し、さしみ、カニ等の生ものと肉類がテーブルを占領しています。

以前から続いている物は、栗きんとん、田作り、煮メぐらいになりました。

孫たちの一番の楽しみはお年玉です。ひとりひとりにポチ袋を渡すときの期待に満ちた顔は、なんとも嬉しそうで、私にとっても楽しい瞬間です。

趣味と仕事をつなぐ一打

田中承宏 椎名町分会教宣部長



長考する田中さん(中央)をパシャリ

今年も正月から麻雀。これだけだといいイメージはないかもしれない。しかし、一年の仕事をより潤滑に進める交流の場だとしたらどうだろうか。

取引先の役員の地元で行われる毎年恒例の正月麻雀。自分が参加するようになったのはコロナが明けた4年前になる。当時、減っていた仕事量を増やしたいと様々な仕事していた中で、防水の現場を任せてもらい気に入ってもらえたのが縁で呼びがかかった。昔から麻雀好きだった自分にとっては願ってもない話。年齢が近いこともあり、同世代が集まる場も楽しかった。

建設業以外の人でも参加する麻雀大会は、いろんな情報を共有するには最適だ。仕事のこと、家庭のこと、様々な話題が飛び交う。時には真剣に麻雀を打ち「顔が怖いぞ」と言われることも。それでも「今年もよろしくお願いします」の意味合いでは最高の時間なのだ。

今年は過去最大の12人が集合した麻雀大会。今年の仕事運・勝負運やいかに。

初めまして、東京土建豊島支部の書記として12月に入職しました川口和也と申します。前職はIT業界でシステムエンジニアをしておりました。主に車に設置するカメラの機能やテレビの録画機能の作成、不具合の修正をしていました。その他にもスマホの通信のテストなど様々な経験を積んできました。そんな中で転職を決めたきっかけは、日々仕事をこなしていく中でふと10年、20年後の将来のことを考えると、人とあまり関わらないで終わってしまう今の人生のままでいいのかと自問していました。もっと色々な方とコミュニケーションを取りたい、もっと色々な方に感謝されるやりがいのある仕事をしたいと思ったのが始まりです。東京土建に決めた理由はそれらの条件に合い、且つ人材不足や

労働環境の課題など様々な問題を抱えている建設業の方々の助けになりたいと思い決めました。趣味は映画やアニメを見ること、ゲームをすることです。映画はヒューマンドラマ系が特に好きで、共感や感動する作品が好きです。アニメは毎期3作品ほど見えています。最近で言いますと僕のヒーローアカデミアやスパイファミリー、キングダムが好きです。学生時代はサッカーやソフトボールをやっていて、運動をすることは大好きです。何でもいいのか何か活動があるときはぜひ声をかけてください。そんな私ですが、皆様の頼りになる書記になりたいと思っています。まだまだ未熟者ですが、一日でも早く皆様のお役に立てるよう日々学んでいきますので引き続きよろしくお願いいたします。

新入書記のご紹介

豊島支部書記 川口和也



巣鴨駅前で駅宣中の川口書記

新年の ごあいさつ

執行委員長

宮本卓廣(上池袋本町)



組合員の皆さん、組合員を支えて下さる家族の皆さん、新年おめでとうございます。昨年は、組合員による月に1回のグリーン大通りでの早朝宣伝のおかげもあり、豊島区でも今年の4月から公契約条例が施行されます。まだ始まる場所ですから、他団体や組合内でも話し合いをして、今後より良いものにしていきたいと思っています。

昨年は物価高で苦しい年でしたが、今年も昨年に引き続き厳しい年になるかも知れませんが、仕事も、組合活動も頑張っていきたいと思います。

副執行委員長(組織対策担当)

遠藤正行(上池袋本町)



新年あけましておめでとうございます。豊島支部副委員長の遠藤です。組織部長として、日頃より支部の組織づくりにご尽力いただいている分会役員、群役員、そしてすべての組合員の皆さんに、心より感謝申し上げます。

昨年は、安定した「2,100人支部」の実現を目標に掲げ、支部分会が一体となって組織増勢に取り組んできました。建設不況が続く、仲間の仕事や暮らしが厳しさを増す中で、組織拡大は決して容易な取り組みではありませんでした。しかし、こうした情勢だからこそ、労働組合の役割と存在意義が改めて問われた一年でもありました。

拡大行動や日常的な訪問、群会議での対話を通じて、新たな仲間との出会いが生まれてだけでなく、これまで組合と距離のあった仲間の声に耳を傾ける機会も広がりました。一人ひとりの思いや悩みに向き合う中で、「顔と顔を合わせた対話」こそが組織づくりの原点であることを、改めて実感しました。

結果として、目標としていた組織増勢を勝ち取ることはできませんでしたが、支部全体で協力し、団結して行動できたことは大きな成果です。群や分会、青年・後継者世代のつながりも着実に広がりました。

新年度は、新たな取り組みとして、ホームセンターで、城北ブロックの他の支部の仲間たちとチラシ等宣伝物を配って、東京土建の宣伝・拡大行動をしたいと考えております。城北ブロックの支部とは、特に絆が強いので、他支部と連携を取りながら行動をしていければと考えております。仲間の繋がりをさらに広げ、支え合える支部をめざし、ともに前進していきたいと思います。

副執行委員長(財政担当)

桑山浩司(椎名町)



新年あけましておめでとうございます。
支部財政部長として初年度を過ごす中で、みなさんから学ぶことが多く大変勉強になりました。東京土建、そして豊島支部としての様々な運動を訴える事ができているのも組織、財政が安定しているからこそだと思います。

組織人数拡大はもちろんですが、今の組織をしっかり固め、組合員同士の結束を強めていき、新たな組合員さんを発掘する運動に繋げていければいいなと思います。

群長、群会計さん、分会財政さんと大変厳しい中頑張ってください。群会議、会計、その他取組みの要請にもいつも以上にみんなで協力し、群、分会をみんなで支えていける年になれば良いですね。本年もよろしくお願いいたします。

副執行委員長(産業対策担当)

梅澤光法(南池袋)



新年、明けましておめでとうございます。
支部副執行委員長、および学習制度化委員長の梅澤です。
本年度も組合員皆様のご協力を頂き豊島支部の益々の向上発展に努めてまいりたいと思います。

また、本年は各分会長を中心とした活動者拡大育成学習会を検討しております。
やはり各分会共に役員において人材不足が懸念されている状況であり、将来的な役員育成が必要不可欠だと思われます。そこで活動者、役員育成の為の意見交換会を開催したいと考えます。各分会がどのようにして現状を維持しているのか、現状を維持していくのか、を考えたいと思います。

私事になりますが、現在は地元町会の町会長を務めており、組合活動との並行した活動は、困難な時もあります。しかし、組合活動と町会活動に於いて共通する事は、労働者としての地位向上、安全、安心な街づくりという目標がある事で認識しております。わんぱくまつり等のイベントにて、地域の町の人達との関わりを大切にして安心、安全な地域、町造りができれば、何よりだと思います。

「ひとりとはみんなの為に、みんなはひとりの為に」、という信念を持ってこれからも精進してまいります。組合員皆様のご協力をお願いいたします。

書記長(書記局統括・各種会議運営)

大浦康昭(かなめ)



新年あけましておめでとうございます。
昨年は非常に厳しい情勢のなか春、秋の拡大月間を皆様の御尽力のおかげで本部目標、支部目標、全分会目標を達成する事が出来ました。しかし組織的に大きな目標の1%組織実増は叶わないばかりか、20年ぶりに2000人を割る結果となりました。

改めて建設業に対しての情勢が非常に厳しい事を目の当たりにすると共に、労働運動の構築もアップデートの必要があると感じました。

昨年は書記局体制もなかなか確立出来ませんでしたが、12月から川口書記が入局しました。

組織強化に一番大事であるのは団結する事だと思います。厳しい情勢の中労働運動を前進するために書記局も組合員の皆さんと対話すると共に、よりコミュニケーションを深めていきたいと思っています。対話し理解を深め合う事こそが、この難局に立ち向かう最大の武器であるとの思いで、皆さまと共に頑張っていきたいと思っておりますので、よろしくお願い致します。

子ども食堂

支援と協力に感謝

増田さん(左)と畠さん(右)共に池袋分会▶



月に1回、地域の子もたちや大人が集まり、一緒にあたたかいごはんを囲む場所として、子ども食堂「ホットハウス」は活動しています。

近所同士のつながりが薄れていると感じる中で、世代を超えて同じ食卓を囲める場所の大切さを強く感じたことが、活動の原点です。

2024年8月にトライアル開催を行い、同年の12月には、恒例行事である餅つき大会と一緒に実施しました。この2回の開催を通して、支部3階の会議室という広いスペースと炊事場を備えた環境があることは、子ども食堂を月1回開催していく条件としては十分に整っていると感じました。

現在の運営は、「子ども食堂をやりたい人」という呼びかけをきっかけに集まったメンバーで行っています。スタッフ4名と組合員ボランティアの皆さんに支えられ、「楽しく」をモットーに、無理のない形で活動を続けています。また、組合員の皆さんからのお米の寄付、東都生協さんからの新鮮な野菜、豊島区民社会福祉協議会さんからのお菓子や調味料など、多くの支援により活動が成り立っています。

昨年度は、多くの皆さまのご理解とご協力のおかげで、子ども食堂を1年間継続して運営することができました。改めて感謝申し上げます。

活動を通して、子どもたちが安心して過

ごせる居場所としての役割だけでなく、地域の方々とのつながりや、見守りの大切さを改めて実感した1年でもありました。

今年度は、これまでの取り組みを大切にしながら、より安定した運営を目指していきたくて考えています。規模の拡大を急ぐのではなく、安全で無理のない開催を継続することを重視し、その過程で準備や運営、物品提供や見守りなどについて、組合の皆さまにご相談やお願いをさせていただく場面も出てくるかと思っています。

子ども食堂「ホットハウス」は、支援の場というよりも、人と人が自然につながる「地域の居場所」です。「おいしいね」「また来るね」といった何気ない言葉のやりとりの中で、



本部で地域貢献活動報告をする畠さん(池袋)と間辺さん(南池袋)

地域の温かさが生まれていることを実感しています。

これからも、子どもたちにあたたかいごはんを囲む気持ちや居場所を、そして組合活動の広がりや発展につながるよう、取り組んでいきたいと考えています。今後とも、皆さまのご理解とご協力をよろしくお願い致します。